



聖徒のための情報誌

今月号の内容

全国の聖徒団を訪ねて
お彼岸を迎えて(1面)
全国の聖徒さん紹介
大分県蓮正寺「一日伝道」(2面)
島根県龍泉寺主催「滝行」
日蓮大聖人の歩まれた道(3面)
よろこび法話(4面)

平成28年(2016年)3月1日(火)
3月号

発行所
〒101-0051
東京都千代田区神田神保町3-25-11
九段中央ビル702
日蓮宗霊断師会九段事務所
電話 03-6272-9340
FAX 03-6272-9341

日蓮宗霊断師会

会長 末吉 観道
編集人 松本 恵昌
購読料 1部 100円(税別)
毎月1回1日発行
日蓮宗霊断師会ホームページ
http://www.yorokobi-reidanshikai.jp
よろこび投稿メール
yorokobi@yorokobi-reidanshikai.jp

全国の聖徒団を訪ねて

愛知県名古屋市長本覚寺聖徒団

本覚寺聖徒団・伊藤守温団長が入寺されたのは今から四十年ほど前。大学を卒業したばかりの伊藤団長は、右も左もわからぬまま本覚寺に入寺された。



建て替えられた明るい本堂

当時は先代住職が先に亡くなり、跡を継ぐ方がなく、聖徒の多くもあちこちの寺院に移ってしまつたそうです。空き寺同然の本覚寺に残つていたのは、ひとつの小さな暗いお堂とお寺の留守を守つてくれていた数人の聖徒。「その日を過ぎることが精一杯だつた。」と、当時を振り返り話されます。

伊藤団長は、それでも聖徒の支えを受けながら日々の勤めを果たし、荒行堂で修行を積むなど、少しづつお寺に賑わいがみえてきた頃、九識霊断法と出会い講習会を受講されました。「霊断法を受講し盛運祈願祭を毎月行うようになったから、聖徒さんが声を掛けてくださった人を呼び込んでくれた。」



身延大会には毎年参加しています

と伊藤団長が話すように、霊断法を愛講以来、次々と相談に足を運ぶ方があり、俱生神月守を着帯する方が増えていったそうです。

現在では、毎月大勢の聖徒と共に祈願祭を開催されています。「団長上人のおかげで何度命を救つてもらつたことか。」と話す女性の聖徒さんは、乳がんや胆のう摘出の手術など命に関わる病を患つた時、伊藤団長の霊断指導

お彼岸を迎えて

日蓮宗霊断師会終身名誉顧問
島根県出雲市
妙本寺福徳聖徒団 団長
吉田 亮善



よろこび3月号がみなさまのお手元に届く頃、私が住職をしているお寺も盛運祈願祭を迎えています。此の時事全国の聖徒の方々は、太鼓を叩いて自他の幸福を一生懸命にお祈りしております。尊い祈りでありませぬ。

私事ですが、今年が父の五十回忌、母の十七回忌に当たります。父は、私が日蓮大聖人さま鶴林の聖蹟大坊本行寺で随身しながら大学に通つていた二年生の時、年末に倒れそ

のまま亡くなりました。

卒業したら、帰らねばなりません。ところが私は、糸の切れた風船のように、腑抜けになつてしまいました。

普通の人は嫌でも敷かれたレールの上を努力して歩きます。私はどうでしょう、あと二年敷かれたレールを歩けば良いのにフラフラフラ、大坊の御前さま、奥さま、先輩みんなが心配してくれませんが、性根が抜けた人間ほど始末の悪いものではありません。自分分どうにもならないのです。当然何年かかっても卒業する気が無いのですから卒業できません。

その間の母の苦悩と嘆きは、計り知れませぬ。師匠を何度も責めたと聞いて



ています。師匠も心配して何度も手紙をくれました。

私も苦しみました。抜け出せたいのはお題目です。私は両親が結婚して九年目にできた子です。私のDNAは心底お題目です。

苦しんでどうしようもなく、もがいている時こそ、お題目を唱えることです。大聖人さまが臨終遊ばされた大坊のご臨終の間で必死に太鼓を叩いて、声を枯らしてお題目を唱えました。佛さまに、お祖師さまに縋るしか道は無かつたのです。

両親には苦勞の掛けっぱなしで何の孝行もしていません。せめてお彼岸ぐらひは、お題目を唱え、語り合いたいものです。



第51回「身延大会」予告
平成28年10月9日(日)・10日(月・祝)

今年の身延大会は
十月に開催します!!
身延大会(第五十一回大会)に参加を予定する聖徒団の皆様は、宿泊先である宿坊・旅館等に早目のご予約をお願い致します。宿泊先を特定出来ない聖徒団の皆様は、「日蓮宗霊断師会・九段事務所」までお問い合わせ下さい。



毎月開催される寺カフェ「いっぶく茶坊」

最近では、聖徒さん主催でカラオケ大会やゴルフコンペまで開催されるようになったそうです。四十数年の時を経て賑わいを見せる本覚寺聖徒団は、伊藤団長の苦勞の上に、明るいお堂と大勢の聖徒でこれからも賑やかな日々を過ごされることでしょう。

津軽宇田山 間法寺
3月21日 午前9時半より
「春季彼岸水子観音祭」
春彼岸一週間
午前5時20分より水行修行会
〒030-1403
青森県東津軽郡外ヶ浜町平館元宇田52-2
TEL 0174-25-2712
住 職 工藤 堯幸・副住職 工藤 堯慎

妙正寺聖徒団
澤田 あい
3月21日(月) 午前11時
しんき ひがん とうぼく しょう
春季彼岸会 塔婆供養
毎月1日午前10時 盛運祈願会
北海道妙正寺聖徒団
〒071-1423
北海道 上川郡東川町東町2丁目6-3
TEL 0166(82)2714
FAX 0166(82)2914

いかされるよろこび
美濃乃國
常唱寺 聖徒団
〒501-3734
岐阜県美濃市千畝町2738-2
TEL/FAX 0575(33)1430

本山 妙頭寺
佐野
天目聖人御報恩
平成屋根等大改修
ご寄付募集中!
●郵便振替
口座番号 00180-6-267327
口座名義 妙頭寺建設委員会
〒327-0843 栃木県佐野市堀米町264
TEL 0283-22-1524
FAX 0283-22-4194
http://www.sano-myoukenji.jp

感通寺
日蓮宗霊断師会終身名誉会長
感通寺聖徒団 団長
新聞 智雄
〒162-0044
東京都新宿区喜久井町39
TEL 03-3209-8782
FAX 03-3208-7966

全国の聖徒さん紹介

平成二十四年にご結婚され、お子さんが宿られてから、お寺の各行事に精力的に参加され、お手伝いされるようになったら、大阪府本了寺聖徒団(田中一寛団長)の寺口千陽(三十二)さんです。

本了寺は、現在第三十九世住職の代で、開山以来、もうすぐ四〇〇年を迎えるお寺です。お寺の檀信徒さんの中でも一番若い彼女は、お子さんに手のかかる時期ではありますが、率先して法要前の準備、お茶出し等、お寺への御給仕をしてくださる、とてもありがたい存在です。

本了寺では、毎月一日、十五日の午後七時より、檀信徒さんを集

めて信行会を行っております。お子さんを連れての信行会では、他の檀信徒さんからお子さんをかわいがっていただいているようで、安心して参加されているようです。



笑顔の絶えない寺口さんご一家(千陽さん写真左)

大分県由布市蓮正寺聖徒団で「二日伝道」を開催



新聞信應講師

一月三十一日、大分県由布市蓮正寺聖徒団(飯盛義教団長)で水行会・星祭りに併せて一日伝道が開催された。

午前十時三十分より僧侶が水をかぶり、その後、本部より島根県新聞信應講師の一日伝道が行われ、新聞講師は「縁について」語られ、自身の子息のことを交えて俱生神月守の話をされた。

一日伝道後、僧侶による星祭りが行われ、続いて、豆まき・福引が行われ、昼食は婦人会による美味しい料理が振る舞われた。参詣に来られた聖徒さんの中に、昨年脳血栓で入院された、少し足元がおぼつかない状態にも関わらず夫と孫をつれてお参りにこられた元婦人会長・利光末子さんがいた。蓮正寺では、毎年恒例の福引の最後に大破魔矢が一人だけあたるが、なんと彼女にその破魔矢があつたのである。

「団長いわく、「日頃の行いを寿量ご本佛さ
まはちゃんと見ておられるんですね。実感しました」。次の日、元婦人会長さんは「先生の話術がとてもうまかつた。福引で大きな破魔矢が当たり、とても嬉しかったです。何よりも孫がいつばい豆を拾って喜んで、来年も行くって言うてくれたこと、とても嬉しかった」と語ってくれた。



元婦人会長利光末子さん

よろこび新年号への感想(お礼状)

北海道旭川市妙寿寺聖徒 武田正子さん

新年のお参りを終え、毎月楽しみに読ませていただいている「よろこび」を戴いて帰り、一ページ目から順に読み進んでいると、五ページ目に主人と私の写真と身延大会の感想が載っており、本当にびっくりしました。

写真をわざわざ送って下さったにもかかわらず、御礼のお手紙も出さず、毎月全国の聖徒様より大会参加感想文が「よろこび」に掲載されているのを読ませていただき、私も書かなければと思いつつも、とうとう書けずいました。

こんな私たちを新年号に掲載いただき、改めてより一層の信心信仰に励もうと心に誓いました。心より御礼申し上げます。

私も一月六日より二月三日まで百年続いております寒行にお上人、寺院婦人、妙恵様たちと共に毎晩頑張っております。寒さもまだまだ厳しい折、事務所の皆様方もお風邪をひかれませぬようにご自愛下さい。大変遅くなりましたが御礼の言葉とさせていただきます。

寒行(かんぎよう)



唱題行脚

全国的に新年を迎えると「寒行」が行われている。私の自坊でも毎年寒の入から節分までの約一ヶ月間朝晩水行をし、午後三時頃から唱題行脚をしている。距離で言うと約八キロ、三時間程かけて地域の安心安全を祈りながら太鼓を叩き、お題目を唱えながら歩く。歩き始めは息が上がり歩ききれるかと不安になりながらも、徐々にお題目の力によって安定し、不思議と疲労感なく毎日歩き続けることができる。毎年必ず「家もお参りして下さい。」と寒空の下玄関の前に立ち、待っていて下さる方もいる。その有り難さにお経の声、太鼓の音がどんどん大きくなる。

ある時「何してるの?」と小学生の男の子。「みんなが笑顔で暮らせるようにお祈りしてるんだよ。」と言うやりとりをしたことがある。内心考えさせられた。このように寒行ができるのは周りの方々のサポートなくしては成立しないと感じた。この男の子はまさに仏様が遣わして下さいった「変化の人」だったのだ。この寒行を通して地域の方と多くのお題目のご縁を結ばせて頂き、有り難くも自身の戒めの行をさせて頂いている。

愛知県豊田市 立正教会聖徒団 永田完英団長



「教学・霊断法解説講師合同研修会」を開催

一月二十一・二十二日、名古屋インターナショナルホテルに於いて教学・霊断法解説講師合同研修会が開催された。開催前日、名古屋は雪が積つていて、北日本から西日本にかけて全国的に雪を伴って非常に強い風が吹き、猛ふぶきとなる所があるにもかかわらず、二十名の講師が参加。一日目は霊断法研修で、石黒泰良霊断部長が講義をし、その後、参加者の実習が行われた。二日目は教学研修。今回は霊断師養成講習会テキストの三大秘法の読み合わせと講義の中のポイントをお泉輝泰教学部長が講義した。この研修会で霊断師養成講習会のテキストの見直しがすべて終わった。



100年続く伝統の寒行

第五十四回 日蓮大聖人の歩まれた道

諸国への遊学(その七)

靈断院教学部長

小泉 輝泰

「上宮太子は、守屋の逆を誅して寺塔の構えをなす。しかしより来、上一人より下万民に至るまで、佛像を崇め経巻を專にす。しかればすなわち、叡山、南都、園城、東寺、四海、一州、五畿、七道、佛経星のごとく羅り、堂宇雲のごとく布けり」
(立正安国論)

冒頭の日蓮大聖人のお言葉にあるように、当時より京都、奈良周辺には、文字通り星の数ほどの寺院が軒を連ねていました。蓮長は奈良の地にて元興寺のみならず、三論宗から興り、当時は天台宗であったとも言われる蓮長寺(現在は日蓮宗の寺院です)を始め、高名な東大寺や、興福寺、法隆寺、そして唐招提寺や西大寺と、様々な寺院を歴訪されては、華嚴宗、法相宗、三論宗、律宗などの各宗教義を学びました。そして薬師寺にて経蔵に参籠し、一切経を閲覧したとされています。

もっとも先に述べた通り、蓮長の



立ち寄られたことは間違いないでしょう。また南都を代表する法隆寺は、言わずと知れた推古天皇、そして聖徳太子の発願によつて創建された、日本最古の木像寺院です。我が国に初めて佛法を弘めることに力を尽くされた聖徳太子を、

中でこれらの各宗における教えは、實大乘である法華経へ帰着せしむるべきものとして、既に一応の決着はなされていきました。それ故に、後のご文章には南都遊学の事実は、あまり記されていないものと思われま

しかし、そこは七大伽藍を誇る南都六宗の諸大寺です。東大寺には勅命によつて良弁僧正が唐から伝承したという華嚴経が所蔵され、興福寺は玄奘三蔵から伝来したと伝えられる経巻がありました。そして薬師寺は、一切経を収蔵する経蔵を有して

当時これらの大蔵經典群は、由緒ある寺院でなければ閲覧出来ない貴重な書物ですので、その閲覧だけでも各寺を巡る価値は十分にあつたと思われま

因みに大聖人は、興福寺で発刊された『春日版法華経』を大切に所持されていきました。それをいつ何処で手に入れたかは明らかされてはいませんが、その法華経には様々な注釈が書き入れられていますので、おそらくはこの時期に南都にて購入し、学んだことを書き入れたと考えるのが妥当と思われま

大聖人が殊の外貴ばれておられたことは、数々のご文章を見ても明らかです。大聖人は恩義を決して蔑ろにされる方ではありません。蓮長が太子有縁の法隆寺を素通りするとは考え難く、きつとその偉大なる功績への報恩を胸に参詣し、太子の尊霊に手を合わせたことでしょう。

つながる通信員!

教誌よろこびを共に作成している全国の通信員を毎月紹介していきます。



私が住んでいるところは、青森の中でも結構な田舎で、とても寒いです。その為かよく映画をみたり、読書にのめり込んでいます。その中で得た知識を生かして靈断布教に頑張っています。また、青森から読者の皆様に地元の情報をお届けします!

よろこびちゃんの質問箱

よし雛ってあるよね。どうして流す習慣があるの?

三月三日はひな祭り。ひな祭りは、五節句の一つで上巳の節供というのよ。元々は三月上旬の巳の日だったんだけど、今は日にちが決まって三月三日になったの。また、旧暦の三月三日は桃の花が咲く季節であることから、桃の

節句とも呼ばれるようになったのよ。古来中国では、上巳の日に川で身を清め不浄を祓う習慣があつたの。これが平安時代に日本に取り入れられ、後に紙で小さな人の形(形代)を作つて穢れを移して、川や海に流して、不浄(惑業)を祓うようになったのね。この風習は、現在でも「流し雛」として各地に残っているのよ。

俱生神月守を着帯している私たちは、懺悔文をお唱えしているわよね。懺悔文は私たちが過去世から引き継いでいる惑業を祓って、ご神仏のご守護をいただく祈りだから、懺悔文って本当に大切なご文章なのね!

流し雛ってあるよね。どうして流す習慣があるの?

よし雛ちゃん

島根県浜田市龍泉寺「滝行」

二十四節気の「小寒」にあたる一月六日、島根県浜田市龍泉寺聖徒団(笹部一眞団長)主催の滝行が行われた。

龍泉寺聖徒団の滝行は、今から五十年程前から先代住職が自身の修行として始められ現在に至っている。浜田市郊外の山中にある細谷川の二ノ滝で、僧侶らが高さ十五メートルからたたきつける冷水に打たれながら一心不乱に法華経、お題目を唱え、国土の安穩と世界の平和を祈り、聖徒やお参りの皆さんの無病息災を祈念した。

笹部一眞団長をはじめ、毎年、出雲、雲南、大田の三市から有志の若手僧侶が集まり行っているが、今年は浜田市にある県立大生も志願し、参加した。

水温は低く、下帯姿で滝の下に入った僧侶らは、必死の形相で流れ落ちる水を受けた。

初めて参加した、島根県立大学四年の落合敬和さん(二十二)は「経験したことのない冷たさだったが、気持ちを引き締めることができた」と晴れ晴れとした顔で振り返り、笹部団長は「今年一年の平穩と皆さんの健康を祈った」と話していた。

ほんと絵手紙

宮崎県の大橋厚子さんからの絵手紙です。ありがとうございました。

必ず明日が来る

絵手紙募集!

全国の聖徒の皆さんのHott心温まるホツとするような「ほんと絵手紙」を募集いたします。皆さんの絵手紙を九段事務所までお送り下さい。よろこびに掲載致します。どしどし絵手紙お待ちしております。

宛先
〒100-0005
東京都千代田区神田神保町
三二二五-11
九段中央ビル七〇二
日蓮宗靈断師会九段事務所

よろこび法話

みんなの幸せを願い、 信仰生活をしてまいりましょう！



日蓮宗霊断師会 総務部 部長
静岡県伊東市 朝善寺聖徒団 団長
工藤 堯顯

「蜘蛛の糸」(芥川龍之介)というお話があります。

ある時、お釈迦様は蓮の池を散歩中に池の中を覗き込みました。すると、その池は針の山や炎が蔓延している地獄界につながっていて、地獄の有様を悉く見る事が出来たのです。

その中に罪人と一緒に苦しんでいるカンドタという男がいました。その男も他の罪人と同様、盗みや殺しなどの大罪を背負い地獄に落とされた訳ですが、そんな罪人でも一度小さな蜘蛛を助けた事があり、その善行を知っていたお釈迦様は、地獄から救うチャンスを与えようと、池の畔に居た蜘蛛の光輝く糸を地獄界のカンドタの目の前に垂らしたのです。カンドタはその光る

糸を見て、これは苦しい地獄から抜け出す糸だと思い、必死で両手で掴み上へ上へと登り出しました。登るにつれだんだんと地獄界が見下ろしたところ、無数の蟻のように罪人達が蜘蛛の糸を掴み這い上がってきたのです。カンドタは、糸が切れてしまうと大変だと這い上る罪人に向かって、「こちら、罪人ども。この蜘蛛の糸は俺のものだ、降りろ」と言ったところ、今まで何ともなかった糸がプツリと切れて、罪人共々カンドタも奈落の底へ落ち、地獄界へ戻ってしまっただというストーリーです。

このお話には、お釈迦様、ご本仏様の云わんとする教えが隠されているのではないのでしょうか？

お釈迦様が真実の法であると明かされた、我々が信ずるところの法華経には、今実際に目の前に生じている現実世界(娑婆)は、仏の御心から見ると、悪鬼充滿する燃え盛る地獄であると説かれています。しかし、ご本仏様の慈悲心により様々な手段を使い、その地獄から救いだそうとしているのです。そして、地獄で苦しむ全ての衆生(人間)だけではなく、生きとし生ける全ての生命(命)を救おうとされているのが妙法蓮華経なのです。そこに帰依する事が『南無妙法蓮華経』であります。「蜘蛛の糸」で云うところの糸が妙法蓮華経であり、糸に掴む事が『南無妙法蓮華経』なのです。しかし、



お題目と巡り合っても自己中心的であると糸が切れてしまいます。全ての衆生を救いたいと願うご本仏様の御心に少しでも近づきお題目を信仰した時、真実の救いが生じてくるのです。

私は、日蓮宗の僧侶となり霊断師になり八年目を迎えますが、その中で出会った聖徒さんの一人で、とある会社を経営している方がいます。その方が経営する会社は祖父が裸一貫で立ち上げた会社で、祖父、父と二代必死に経営をし、平成の大不況にも負けず礎を築いた会社でした。それが、その聖徒さんの代になり大きく経営方針を変え、業績が悪化し借金も膨れ上がり、どうすれば良いかと悩んでいる時に縁有って相談にいられた。しかし、その聖徒さんからは、礎を築いた方々への感謝や従業員への感謝や現場への情熱はそれ程感じることが出来ませんでした。霊断法によるとその通りのお示しがあり、様々な改善点をお伝えしました。まず会社を築いた方々への感謝、従業員への感謝、なによりも仕事を通じて多くの方に笑顔になって頂き、少しでも世の中の為になる仕事をするんだという情熱を持って俱生神月守を着帯すること。また今まで会社を築くにあたって様々な方の力が有り、その中には故人の方もいますから、会社で縁無縁の霊のお題目供養もされた方が良いでしょうと伝えました。しかし納得はされず、「お経とご祈祷でなんとか

してくれと思うから来てんだ。」といて帰られました。それから数日後連絡があり「夢の中で、祖父と父が頂上に座っている大きな砂山を、他の者を退けてわれ先にと凄まじい形相で掘っている自分の姿を見ました。先日言われた事がどういふ事なのかわかりました。これからは、周りの幸せを願い仕事をしていきます。」という内容でした。それからは、俱生神月守をしっかりと着帯するようになり、仕事も誰よりも早く行き、周囲の方々にありがたさを伝える事を心掛け、仕事の合間を見つければお参りに来ては、お題目を唱え、ご祈祷を受け、供養を重ねました。今では、徐々に借金も減り、張りのある生活になってきた様子です。

我々の目の前にも必ずご本仏様からの糸が垂れ下がっています。もうすでに掴んでいるかもしれない。しかし切れそうになっっていないか俱生神月守に手をあててお題目を唱え、信仰生活の軌道をしつかりとその都度修正し、多くの方々の幸せを願い生活して頂きたいと思えます。そうする事により必ずや安らかなる生活が訪れる事でしょう。

本誌イラスト 小川けんいち

全国のよろこびちゃん vol.27



兵庫県養父市
宝泉寺聖徒団

鳥居 桃安ちゃん

御守をつけて毎日元気に保育園に通ってます。将来の夢はプリキュアになること。だから、苦手な野菜も頑張って食べます！！

全国のよろこびちゃんを募集しています！

砥森山 法華寺

生きて救われの道場

住職 阿部 是秀
副住職 阿部 是眞

〒028-0304
岩手県遠野市宮守町下宮守31-69-1
電話 0198-67-3166
FAX 0198-67-2227

安房乃國隨一
三十番神祈願道場

顕本寺聖徒団
団長 小泉 輝泰

「1人で悩まず、まずは相談」
〒295-0002
千葉県南房総市千倉町川合690-1
TEL 0470-44-1062
FAX 0470-44-1524

信用第一の専門店

◇格調高い関東風仏具◇

宗務院指定

仏壇・仏具 仏像彫刻
内陣荘厳具 設計製作

(株)中野三佛屋

東京都台東区寿2丁目7の12
電話 03 (3843) 6951
FAX 03 (3843) 6973
定休日 日曜日

利生寺

日蓮宗霊断師会会長
利生寺聖徒団団長
末吉 観道
副団長
末吉 正道

〒930-0055 富山県富山市梅沢町3-16-10
TEL 076-421-8776 FAX 076-421-8250

正蓮寺

日蓮宗霊断師会 副会長
日蓮宗宗会議員
正蓮寺聖徒団 団長
大塩 孝信

〒290-0151 千葉県原市瀬又134-1
TEL 0436-52-0207
FAX 0436-52-2288